

練習問題（3）

1. （多岐選択式）宮沢俊義が主張し、ポツダム宣言をもって日本の国家体制は天皇主権から国民主権へと変更されたという議論を何というか？
- A) 八月革命説
 - B) ノモス主権論
 - C) 国民主権
 - D) 三権分立

解説 正解は A)。八月革命説とはポツダム宣言をもって天皇主権が国民主権へと変更されたという主張。

2. （多岐選択式）ポツダム宣言の内容として、正しくないものを選んでください
- A) 自由主義
 - B) 社会主義
 - C) 民主主義
 - D) 平和主義

解説 正解は B)。社会主義はポツダム宣言には含まれていない。

3. （空所補充・短答）「憲法問題調査委員会」（松本烝治委員長）の憲法改正案に対して、マッカーサーは憲法改正の要点を示した（ ）を提示した。

解説 正解は「マッカーサー草案」

4. （空所補充・短答）国体とは国家体制の略であるが、大日本帝国憲法下で国体とは（ ）を意味していた。

解説 正解は「天皇主権」

5. （正誤問題）以下の命題の正誤を判断し、その理由を述べなさい。

ノモス主権論とは「公共の福祉」という点において、大日本帝国憲法も日本国憲法も変わるところはないのであるから、前者から後者への改正は可能であるという立場である。

解説 正答。尾高朝雄のノモス主権論の説明として正しい文章である。